

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2000020530 A**

(43) Date of publication of application: **21.01.00**

(51) Int. Cl.

**G06F 17/30**  
**G06F 17/60**

(21) Application number: **10181882**

(71) Applicant: **FUJITSU LTD**

(22) Date of filing: **29.06.98**

(72) Inventor: **SUMIKAWA KIYOKO**

(54) **USER COMMUNICATION METHOD,  
ELECTRONIC MALL SYSTEM AND RECORDING  
MEDIUM**

displayed also on the terminal equipment of another user.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

(57) Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To enable a user utilizing an electronic mall system to obtain satisfaction by promoting the user to communicate with other users.

**SOLUTION:** An introduction information data base for storing the introduction information of users having purchased commodities is previously prepared, a user check screen for checking whether user communication service has been used or not is displayed on the terminal equipment of a user purchasing a commodity by an electronic mall, the information indicating the existence of use and inputted to the use check picture is registered in the introduction information data base. When a retrieval instruction for a certain user is generated, the introduction information data base is retrieved based on a retrieving condition for the user, an introduction information screen HG5 for the user hit by the retrieval can be displayed on the terminal equipment of the user himself (or herself) and the introduction information screen HG6 of the user can be

(A)

HG 5

あなたと同じ製品を購入頂いた方です。

ニックネーム: TARO

年齢: 20~25才

住所: 大阪府摂津市

メールアドレス: Larn@osaka.cx.jp

メッセージ: ヨロシク!!

(B)

HG 6

あなたと同じ製品を購入頂いた方です。

ニックネーム: ハジメ

年齢: 20~25才

住所: 大阪府大阪市

メールアドレス: hajime@osaka.cx.jp

メッセージ: ...一緒に旅行をしましょう

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-20530

(P2000-20530A)

(43) 公開日 平成12年1月21日 (2000.1.21)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマコード (参考)
G 0 6 F 17/30		G 0 6 F 15/40	3 7 0 Z 5 B 0 4 9
17/60		15/21	Z 5 B 0 7 5

審査請求 有 請求項の数 9 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願平10-181882

(22) 出願日 平成10年6月29日 (1998.6.29)

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

(72) 発明者 住川 貴代子

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

(74) 代理人 100086933

弁理士 久保 幸雄

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ユーザコミュニケーション方法及び電子モールシステム並びに記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 電子モールシステムを利用するユーザが他のユーザなどとのコミュニケーションを図ることを促進し、これによってより満足感を得ることを可能とすること。

【解決手段】 商品を購入したユーザについての紹介情報を格納する紹介情報データベースを設けておき、電子モールにおいて商品を購入したユーザに対して、ユーザコミュニケーションサービスの利用の有無を確認するための利用確認画面を当該ユーザの端末装置に表示可能とし、利用確認画面において入力された利用の有無についての情報を紹介情報データベースに登録し、あるユーザについての検索指示があったときに、当該ユーザについての検索条件にしたがって紹介情報データベースを検索し、検索によりヒットしたユーザについての紹介情報画面 H G 5 を当該ユーザの端末装置に表示可能とするとともに、当該ユーザについての紹介情報画面 H G 6 をヒットした他のユーザの端末装置に表示可能とする。

紹介情報画面の例を示す図

(A)

H G 5

あなたと同じ製品を購入頂いた方です。

ニックネーム：T A R O

年齢：20～25才

住所：大阪府摂津市

メールアドレス：taro@osaka.cx.jp

メッセージ：ヨロシク！！

(B)

H G 6

あなたと同じ製品を購入頂いた方です。

ニックネーム：ハジメ

年齢：20～25才

住所：大阪府大阪市

メールアドレス：hajime@osaka.cx.jp

メッセージ：一緒に旅行をしましょう

## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ユーザが端末装置を用いて電子モールにアクセスして商品又はサービスの取り引きを行うことが可能に構成された電子モールシステムにおけるユーザコミュニケーション方法であって、

商品又はサービスの取り引きを行ったユーザについての紹介情報を、取り引き対象の商品又はサービスを特定する情報と関連付けて格納する紹介情報データベースを設けておき、

前記電子モールにおいて商品又はサービスの取り引きを行うユーザから端末装置を介して紹介情報の取得の要求があった際に、所定の又は当該ユーザにより設定された検索条件に基づいて前記紹介情報データベースを検索し、当該ユーザが取り引きを行う商品又はサービスと同一の商品又はサービスの取り引きを行った他のユーザを抽出し、抽出された他のユーザについての紹介情報を前記ユーザの端末装置に表示可能とする、

ことを特徴とする電子モールシステムにおけるユーザコミュニケーション方法。

【請求項 2】 請求項 1 記載のユーザコミュニケーション方法であって、

ユーザコミュニケーションサービスの利用の有無を確認するための利用確認画面をユーザの端末装置に表示可能とし、

前記利用確認画面において入力された利用の有無についての情報を前記紹介情報データベースに登録し、

前記紹介情報データベースを検索する際に、ユーザコミュニケーションサービスの利用有りと登録されたユーザについての紹介情報のみを検索の対象とする、

電子モールシステムにおけるユーザコミュニケーション方法。

【請求項 3】 請求項 2 記載のユーザコミュニケーション方法であって、

前記利用確認画面において、当該ユーザについての前記紹介情報を表示し又は入力可能とする、

電子モールシステムにおけるユーザコミュニケーション方法。

【請求項 4】 ユーザが端末装置を用いて電子モールにアクセスして商品又はサービスの取り引きを行うことが可能に構成された電子モールシステムであって、

商品又はサービスの取り引きを行ったユーザについての紹介情報を格納する紹介情報データベースと、

前記電子モールにおいて商品又はサービスの取り引きを行うユーザに対して、ユーザコミュニケーションサービスの利用の有無を確認するための利用確認画面を当該ユーザの端末装置に表示可能とするための手段と、

前記利用確認画面においてユーザが入力した利用の有無についての情報を前記紹介情報データベースに登録する手段と、

ユーザからの検索指示があったときに、所定の又は当該

ユーザにより設定された検索条件に基づいて前記紹介情報データベースを検索する手段と、

検索によりヒットしたユーザについての紹介情報を検索指示のあったユーザの端末装置に表示可能とする手段と、

検索指示のあったユーザについての紹介情報を検索によりヒットしたユーザの端末装置に表示可能とする手段と、

を有することを特徴とする電子モールシステム。

10 【請求項 5】 前記利用確認画面には、当該ユーザについての前記紹介情報の全てが表示されるように制御される、

請求項 4 記載の電子モールシステム。

【請求項 6】 前記紹介情報を端末装置に表示可能とするために、当該紹介情報を当該ユーザのメールアドレスに電子メールで送信する、

請求項 4 又は請求項 5 記載の電子モールシステム。

【請求項 7】 ユーザが取り引きを行った商品又はサービスの中から検索条件として設定すべき商品又はサービスを選択するための商品選択画面を、当該ユーザの端末装置に表示可能とするための手段を有してなる、

請求項 4 乃至請求項 6 のいずれかに記載の電子モールシステム。

【請求項 8】 商品又はサービスに関連したグループを登録するためのグループデータベースが設けられており、前記検索する手段は、検索指示があったときに前記グループデータベースについても検索を行う、

請求項 4 乃至請求項 7 のいずれかに記載の電子モールシステム。

30 【請求項 9】 ユーザが端末装置を用いて電子モールにアクセスして商品又はサービスの取り引きを行うことが可能に構成される電子モールシステムにおけるユーザコミュニケーション方法のためのプログラムを記録した記録媒体であって、

商品又はサービスの取り引きを行ったユーザについての紹介情報を、取り引き対象の商品又はサービスを特定する情報と関連付けて紹介情報データベースに格納する処理と、

前記電子モールにおいて商品又はサービスの取り引きを行うユーザから端末装置を介して紹介情報の取得の要求があった際に、所定の又は当該ユーザにより設定された

検索条件に基づいて前記紹介情報データベースを検索し、当該ユーザが取り引きを行う商品又はサービスと同一の商品又はサービスの取り引きを行った他のユーザを抽出する処理と、

抽出された他のユーザについての紹介情報を前記ユーザの端末装置に表示可能とする処理と、

をコンピュータに実行させるためのプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

50 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、電子モールシステムにおけるユーザコミュニケーション方法及び電子モールシステム並びに記録媒体に関する。

【0002】インターネットやパソコン通信を利用した電子モールシステムが新しい流通形態として注目されている。例えばインターネットを利用した電子モールは、WWWサーバのホームページ上に開設され、そこに各テナントが店舗を出して商品を陳列し販売する。パーソナルコンピュータなどの端末装置を操作するユーザ、つまり消費者又は顧客は、インターネットを介して電子モールにアクセスし、買いたい商品があれば画面上の用紙に住所氏名又はクレジット番号などを書き込んで注文する。

【0003】電子モールの店舗には、百貨店、専門店、工場直売店、産地直売店、各種卸売店又は小売店、各種チケット販売店などがあり、大小様々な店舗で種々の商品又はサービスが取り扱われている。

【0004】

【従来の技術】インターネットを利用した従来の電子モールにおいて、ユーザが電子モールにアクセスすると、ユーザの端末装置の表示面には電子モールのホームページが表示される。ユーザは、例えば、電子モールにどんな店舗（テナント）が開店しているかを知るために、店舗一覧を選択して表示面に表示させる。

【0005】ユーザは、店舗一覧画面の中から目的の店舗又は興味のある店舗を選択する。これによって、選択された店舗のホームページが表示され、さらに操作を行うことによって種々の商品又はサービスが表示される。ユーザは、望みの商品があればそれを選択し、所定の手続を行うことにより購入することができる。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】上述のように、従来の電子モールにおいては、自宅のパーソナルコンピュータを操作することによって、種々の商品の購入を行うことができる。

【0007】しかし、電子モールにおける商品の購入は簡単であるが、ユーザは端末装置を介して表示面に開設された店舗と対話を行うのみであるから、店舗の店員や他のユーザとのコミュニケーションが不足し、この点において満足感を十分に満たすものとはいえなかった。

【0008】本発明は、上述の問題に鑑みてなされたもので、電子モールシステムを利用するユーザが他のユーザなどとのコミュニケーションを図ることを促進し、これによってより満足感を得ることを可能とした電子モールシステムにおけるユーザコミュニケーション方法及び電子モールシステム並びに記録媒体を提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明に係る方

法は、ユーザが端末装置を用いて電子モールにアクセスして商品又はサービスの取り引きを行うことが可能に構成された電子モールシステムにおけるユーザコミュニケーション方法であって、商品又はサービスの取り引きを行ったユーザについての紹介情報を、取り引き対象の商品又はサービスを特定する情報と関連付けて格納する紹介情報データベースを設けておき、前記電子モールにおいて商品又はサービスの取り引きを行うユーザから端末装置を介して紹介情報の取得の要求があった際に、所定の又は当該ユーザにより設定された検索条件に基づいて前記紹介情報データベースを検索し、当該ユーザが取り引きを行う商品又はサービスと同一の商品又はサービスの取り引きを行った他のユーザを抽出し、抽出された他のユーザについての紹介情報を前記ユーザの端末装置に表示可能とする。

【0010】請求項2の発明に係る方法は、ユーザコミュニケーションサービスの利用の有無を確認するための利用確認画面をユーザの端末装置に表示可能とし、前記利用確認画面において入力された利用の有無についての情報を前記紹介情報データベースに登録し、前記紹介情報データベースを検索する際に、ユーザコミュニケーションサービスの利用有りと登録されたユーザについての紹介情報のみを検索の対象とする。

【0011】請求項3の発明に係る方法は、前記利用確認画面において、当該ユーザについての前記紹介情報を表示し又は入力可能とする。請求項4の発明に係るシステムは、ユーザが端末装置を用いて電子モールにアクセスして商品又はサービスの取り引きを行うことが可能に構成された電子モールシステムであって、商品又はサービスの取り引きを行ったユーザについての紹介情報を格納する紹介情報データベースと、前記電子モールにおいて商品又はサービスの取り引きを行うユーザに対して、ユーザコミュニケーションサービスの利用の有無を確認するための利用確認画面を当該ユーザの端末装置に表示可能とするための手段と、前記利用確認画面においてユーザが入力した利用の有無についての情報を前記紹介情報データベースに登録する手段と、ユーザからの検索指示があったときに、所定の又は当該ユーザにより設定された検索条件に基づいて前記紹介情報データベースを検索する手段と、検索によりヒットしたユーザについての紹介情報を検索指示のあったユーザの端末装置に表示可能とする手段と、検索指示のあったユーザについての紹介情報を検索によりヒットしたユーザの端末装置に表示可能とする手段と、を有する。

【0012】請求項5の発明に係るシステムでは、前記利用確認画面には、当該ユーザについての前記紹介情報の全てが表示されるように制御される。請求項6の発明に係るシステムでは、前記紹介情報を端末装置に表示可能とするために、当該紹介情報を当該ユーザのメールアドレスに電子メールで送信する。

10

20

30

40

50

【0013】請求項7の発明に係るシステムでは、ユーザが取り引きを行った商品又はサービスの中から検索条件として設定すべき商品又はサービスを選択するための商品選択画面を、当該ユーザの端末装置に表示可能とするための手段を有してなる。

【0014】請求項8の発明に係るシステムでは、商品又はサービスに関連したグループを登録するためのグループデータベースが設けられており、前記検索する手段は、検索指示があったときに前記グループデータベースについても検索を行う。

【0015】請求項9の発明に係る記録媒体は、ユーザが端末装置を用いて電子モールにアクセスして商品又はサービスの取り引きを行うことが可能に構成される電子モールシステムにおけるユーザコミュニケーション方法のためのプログラムを記録した記録媒体であって、商品又はサービスの取り引きを行ったユーザについての紹介情報を、取り引き対象の商品又はサービスを特定する情報と関連付けて紹介情報データベースに格納する処理と、前記電子モールにおいて商品又はサービスの取り引きを行うユーザから端末装置を介して紹介情報の取得の要求があった際に、所定の又は当該ユーザにより設定された検索条件に基づいて前記紹介情報データベースを検索し、当該ユーザが取り引きを行う商品又はサービスと同一の商品又はサービスの取り引きを行った他のユーザを抽出する処理と、抽出された他のユーザについての紹介情報を前記ユーザの端末装置に表示可能とする処理と、をコンピュータに実行させるためのプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記録媒体である。

【0016】ユーザは、端末装置5、6を操作することにより、インターネット、イントラネット、WAN、LAN、公衆回線、その他の種々のネットワークを介して電子モールにアクセスすることができる。本明細書における電子モールには、電子商店街、バーチャルモール、サイバーモール、又はオンラインショッピングなどが含まれる。また、商品又はサービスの取り引きには、ユーザによる商品の購入、サービスを受けるための申込み、サービスを受けるための団体への加入、スポーツや健康増進のためのスクールへの入会など、有形又は無形の種々の取り引きが含まれる。

【0017】ユーザは、電子モールにアクセスしている間は、何時でも端末装置を介して紹介情報の取得の要求を行うことが可能である。つまり、ユーザは、電子モールにおいて商品又はサービスの取り引きを行う前、取り引きを行った直後、又は取り引きを行った後の任意の時点において、紹介情報の取得の要求を行うことが可能である。

【0018】本発明に係る端末装置5、6は、例えばパーソナルコンピュータ、ワークステーション、又は汎用コンピュータを用いて実現される。本発明に係る方法を実行するためのプログラムは、半導体メモリ、ハードデ

ィスク、CD-ROM、フロッピーディスク、又は光磁気ディスクなどの記録媒体に格納される。記録媒体に格納されたプログラムは、主メモリ上に適時ローディングされ、処理装置によって実行される。その際に、CD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブ、又は光磁気ディスクドライブなどのドライブ装置が必要に応じて用いられる。記録媒体がネットワークなどの通信回線で結ばれた他のサーバに設けられている場合には、通信回線を介してサーバからプログラムが読み取られ又はダウンロードされる。プログラムは、種々のOS、プラットフォーム、システム環境、又はネットワーク環境の下で動作するように供給可能である。

【0019】

【発明の実施の形態】図1は本発明に係る電子モールシステム1の構成を示すブロック図、図2はユーザデータベース14の構成の例を示す図、図3はサークルデータベース15の例を示す図である。

【0020】図1において、電子モールシステム1は、電子モールシステム1において運用されるテナント（店舗）を登録し管理するためのサーバ4、インターネット7を介してサーバ4にアクセス可能な多数のユーザ（顧客）の端末装置5、5…、サーバ4に登録した多数のテナントの端末装置6、6…などから構成される。

【0021】サーバ4には、テナントマスタ11、商品マスタ12、注文マスタ13、ユーザデータベース14、サークルデータベース15、ユーザ向けプログラム17、テナント運用支援プログラム18、及びコミュニケーション用プログラム19などが設けられている。ユーザデータベース14は本発明における紹介情報データベースに相当し、サークルデータベース15は本発明におけるグループデータベースに相当する。

【0022】テナントマスタ11には、電子モールシステム1に登録された各テナントについて、テナントコード、テナント名、及び新装開店日などのデータが格納される。テナントコードは、各テナントに対して付与される識別のためのコードである。テナント名（店舗名）は、各テナントの名称である。新装開店日は、電子モールシステム1に登録された日付又はアクセス可能となった日付である。

【0023】商品マスタ12には、各商品について、テナントコード、商品コード、商品名、価格、及び商品登録日などのデータが格納される。商品コードは、商品を識別するためのコードである。各テナントは、商品マスタ12に格納されたデータのうち、各テナント自身の商品についてのみアクセスし、商品の新規登録、更新、削除などを行うことができる。それらの作業は、端末装置6の画面上で、又は予め作成した更新用の商品ファイルからのデータのアップロードによって行うことができる。

【0024】注文マスタ13には、ユーザの各注文につ

いて、テナントコード、商品コード、注文番号、購入者氏名又はユーザコード、配達先、注文日（売上げ日）、個数、及び注文金額（売上げ金額）などのデータが格納される。注文マスタ 13 にはユーザの注文によって書き込まれる。各テナントは、注文マスタ 13 について、そのテナント自身への注文のデータに対してのみアクセスすることができる。

【0025】ユーザデータベース 14 は、商品を購入したユーザについてのデータ（紹介情報）を、その購入データとともに格納したものである。図 2 において、ユーザデータベース 14 に登録される項目として、商品型番 GT、商品名 GN、購入日時 BD、顧客番号 UB、利用フラグ UF、顧客氏名 UN、顧客住所 UA、メールアドレス MA、ニックネーム NN、性別 SE、年齢 AG、及びメッセージ MG がある。

【0026】商品型番 GT は、ユーザの購入した商品を特定するためのデータである。例えば、メーカなどにおいて付される型番、販売店などにおいて付される商品コードなどが用いられる。図の例では、「kattobi-40」「senpuki」などである。商品型番 GT に代えて商品コードを用いてもよい。

【0027】商品名 GN は、商品の通常の名称である。商品データが別途登録されている場合にはなくてもよい。図の例では「かっとび 400」「扇風機」などである。購入日時 BD は、顧客が商品を購入した日時である。図の例では「98/12/01」などである。顧客番号 UB は、購入者を特定するためのデータである。顧客の電話番号又は顧客毎に付したコードなどが用いられる。図の例では「yamasita001」などである。

【0028】利用フラグ UF は、顧客が購入者コミュニケーションシステムを利用するか否かを示すフラグである。利用する場合は「1」、利用しない場合は「0」である。顧客氏名 UN は、購入時には入力する必要があるが、購入者コミュニケーションシステムにおいては本名を使用しないので、なくてもよい。

【0029】顧客住所 UA は、都道府県、市町村郡、及び詳細の 3 つのデータからなる。都道府県及び市町村郡のデータは、紹介の該当者を住所別で検索する際に必要である。また、本実施形態の購入者コミュニケーションシステムにおいては、顧客の住所を市町村郡まで公開するので、そのためにデータが分割して登録される。詳細のデータは、商品の購入時には必要であるが、購入者コミュニケーションシステムではなくてもよい。

【0030】メールアドレス MA は、購入者コミュニケーションシステムから顧客に対して紹介情報のメールを自動送信するために必要である。ニックネーム NN は、当該顧客を他の顧客に対して紹介する際に使用する。図の例では「ハジメ」などである。性別 SE 及び年齢 AG は、紹介情報を性別又は年齢別で検索する際に必要であ

る。メッセージ MG は、当該顧客を他の顧客に対して紹介する際に用いられる。

【0031】これらのデータのうち、商品型番 GT、顧客番号 UB、利用フラグ UF、及びメールアドレス MA は必須のデータである。商品型番 GT からメールアドレス MA までのデータは、顧客が商品を購入したときに表示される購入処理画面 HG 2 で入力することによって登録される。ニックネーム NN 以降のデータは、購入者コミュニケーションシステムの利用についての登録を行うための利用確認画面 HG 3 で入力したときに、自動的に追加登録される。

【0032】なお、図の例では、これらのデータを 1 つのユーザデータベース 14 に格納したが、例えば、商品型番 GT、商品名 GN、購入日時 BD、及び顧客番号 UB のデータ（購入データ）のみをユーザデータベース 14 に登録し、他のデータ（紹介情報）は顧客番号 UB をキーとして別のデータベースに登録してもよい。これは、例えば、同じユーザが何回も電子モールシステム 1 にアクセスし、何回も商品を購入するようになった場合に、効率的である。

【0033】サークルデータベース 15 は、種々のサークルについて、その活動状況、及びサークルへの会員の募集に関する条件などを格納したものである。図 3 において、サークルデータベース 15 に登録される項目として、サークルコード CC、サークル名 CN、代表者ニックネーム RN、代表者メールアドレス RM、年代構成 AC、性別構成 SC、活動住所 AA、メッセージ CM、利用フラグ CF、及び抽出希望条件 CD がある。

【0034】サークルコード CC は、サークルを特定するためのデータである。図の例では「001」などである。年代構成 AC は、10 代が「1」、20 代が「2」、30 代が「3」、40 代が「4」である。性別構成 SC は、男性のみが「1」、女性のみが「2」、男女混合が「0」である。利用フラグ CF は、利用する場合は「1」、利用しない場合は「0」、男性のみに利用する場合は「2」、女性のみに利用する場合は「3」である。

【0035】抽出希望条件 CD には、購入商品型番、年齢、及び住所がある。各サークルにおいて、これらに適切な条件を設定しておくことによって、その条件に適合するユーザがサークルに紹介され、且つそのユーザにサークルが紹介される。購入商品型番には、複数のデータを登録することが可能である。また、購入商品型番を限定しない場合には「0」を登録しておく。図の例のように年齢のデータが「12」である場合には、10 代及び 20 代のユーザのみに紹介される。住所のデータは、住所を問わない場合には「0」、同じ都道府県の場合には「1」、同じ市町村郡の場合には「2」である。

【0036】これらのデータのうち、サークルコード C

10

20

30

40

50

C、代表者メールアドレスRM、利用フラグCF、及び抽出希望条件CDの購入商品型番については必須のデータである。これらのデータは、サークルデータの登録画面HG10から入力を行うことによって登録され又は修正される。

【0037】図1に戻って、ユーザ向けプログラム17として、端末装置5、6の表示面へのテナントページを表示するためのプログラム171、ユーザからの注文を受け付けるためのプログラム172、商品検索を行うためのプログラム174などが存在する。これらのプログラムは、端末装置5、6からの依頼により即座に実行可能である。

【0038】テナント運用支援プログラム18として、新規テナントのテナントマスタ11への登録及び作成のためのプログラム181、商品マスタ12への登録のためのプログラム182、及びテナントからの注文状況の照会のためのプログラム183などが存在する。これらのプログラムは、端末装置6からの依頼により即座に実行可能である。

【0039】コミュニケーション用プログラム19は、電子モールシステム1において購入者コミュニケーションシステムを実現するためのプログラムである。コミュニケーション用プログラム19の実行によって、利用確認画面HG3を顧客の端末装置5に表示可能とし、利用確認画面HG3において顧客が入力したデータがユーザデータベース14に登録される。また、コミュニケーション用プログラム19の実行によって、検索指示があったときに、指定された検索条件にしたがってユーザデータベース14が検索される。検索によりヒットしたユーザについての紹介情報が、検索指示のあった顧客の端末装置5に表示可能とされ、検索指示のあった顧客についての紹介情報が検索によりヒットした顧客又はサークルの端末装置5に表示可能とされる。

【0040】なお、図示は省略したが、管理用プログラムなども設けられている。これらユーザ向けプログラム17、テナント運用支援プログラム18、コミュニケーション用プログラム19、及び管理用プログラムなどは、互いに独立している場合もあるが、互いに交錯している場合もある。つまり、これらの区別は概念的なものと考えてもよい。

【0041】次に、電子モールシステム1による購入者コミュニケーションシステムについて説明する。図4は端末装置5の表示面に表示されるメニュー選択画面HG1の例を示す図、図5は購入処理画面HG2の例を示す図、図6は利用確認画面HG3の例を示す図、図7は紹介確認画面HG4の例を示す図、図8は紹介情報画面HG5、6の例を示す図、図9は紹介情報画面HG7の他の例を示す図、図10は顧客確認画面HG8を示す図、図11は商品選択画面HG9を示す図、図12はサークルデータの登録画面HG10の例を示す図である。

【0042】ユーザがインターネット7を介してサーバ4の電子モールにアクセスすると、ユーザの端末装置5の表示面に電子モールのホームページが表示される。ここで図4に示すメニュー選択画面HG1が表示される。メニュー選択画面HG1において、商品ページへ行くか、又は購入者コミュニケーションシステムへ行くかを、ボタンSP又はCPのいずれかをクリックすることによって選択することができる。

【0043】もし、ユーザが電子モールシステム1に初めてアクセスした場合には、通常、商品ページへ行くためのボタンSPをクリックする。これによって、店舗を選択する画面などが表示され、種々の商品が表示される。ここでは、あるユーザがバイクを購入するものとして説明を行う。しかし、乗用車、楽器、ゲームなど、種々の商品について適用することが可能である。

【0044】ユーザが、好みのバイクを購入するための指示を入力すると、端末装置5に購入処理画面HG2が表示される。図5に示す購入処理画面HG2において、商品データGDと顧客データUDとが表示される。商品データGDとして、商品名GN及び商品型番GTなどが、指定した商品のデータに基づいて表示される。顧客データUDとして、顧客氏名UN、顧客住所UA、及びメールアドレスMAなどの項目が表示され、それぞれについて顧客が入力する。画面上で入力を行った後、図示しない確認ボタンを押すと、商品データGD及び入力された顧客データUDがユーザデータベース14に登録される。

【0045】登録がなされた後、図6に示す利用確認画面HG3が表示される。図6に示す利用確認画面HG3において、購入者コミュニケーションシステムについての説明文DCB、及び利用の有無についての選択肢DCC、及び利用する場合の追加データDCDが表示される。ユーザは、説明文DCBによって購入者コミュニケーションシステムの概要を知り、その利用の有無を選択する。選択肢DCCの「利用しない」を選択した場合には、それ以降のデータを入力する必要はなく、ユーザデータベース14にも登録されない。利用する場合には、追加データDCDを入力する。利用の有無及びその内容についての選択データは、利用フラグUFとして登録される。

【0046】追加データDCDのうちの公開される情報DCD1において、商品型番GT、購入日時BD、及び顧客住所UAについては、購入処理画面HG2において入力され又は表示されたデータがデフォルト値として表示される。これらのデータを修正することが可能である。顧客住所UAについては都道府県及び市町村郡までが表示される。ニックネームNNなどのデータについては、ユーザが入力する。購入者コミュニケーションシステムを利用した場合に、ここに表示された公開される情報DCD1のみが、他のユーザ又はサークルに紹介情報

として伝達される。したがって、ユーザは、自己のデータが不測に他に流出することがないという安心感を得ることができる。

【0047】抽出条件DCD2として、「最大抽出人数」及び「抽出の優先順位」がある。「最大抽出人数」は、紹介情報を検索する際に、ヒットにより抽出される人数を制限するためのものである。検索エンジンは、ここで指定された人数になるまで検索条件を追加して検索を繰り返す。「抽出の優先順位」において、性別、住所、及び年齢の優先順位を選択して指定する。入力を終えた後、確認ボタンBT1を押すと、それらのデータがユーザデータベース14に追加登録され、また検索条件として登録される。

【0048】追加登録がなされた後、図7に示す紹介確認画面HG4が表示される。図7に示す紹介確認画面HG4において、ユーザが紹介情報を直ぐに欲しい場合には、OKボタンBT2を押す。これによってユーザデータベース14及びサークルデータベース15に対する検索処理が行われる。

【0049】ユーザデータベース14の検索は、全ての登録データの中から、当該ユーザの購入した商品と同じ商品を購入したユーザであり、且つ、当該ユーザ及び他のユーザが指定した検索条件に互いに合致するユーザを抽出する処理である。

【0050】サークルデータベース15の検索は、全ての登録データの中から、当該ユーザの購入した商品などについて、ユーザの検索条件DCD2及びサークルの抽出条件CDに互いに合致するサークルを抽出する処理である。

【0051】抽出されたユーザ又はサークルについてのデータ（紹介情報）は、直ぐに紹介情報画面HG5として端末装置5に表示される。しかし、後で当該ユーザのメールアドレスMAに送信するようにしてもよい。また、当該ユーザの紹介情報は、その後に、抽出された他のユーザのメールアドレスMA及びサークルの代表者メールアドレスRMに送信される。他のユーザ又はサークルにおいては、端末装置5を操作することによって、送信された紹介情報を紹介情報画面HG6として表示することができる。このように、紹介情報を電子メールで送信することによって、送信を受けたユーザ又はサークルは、電子モールシステム1にアクセスしていないときにも、任意の時点で、その紹介情報を見ることができる。

【0052】図8(A)に示す紹介情報画面HG5は、当該ユーザの端末装置5の表示面に表示されたものであり、「TARO」の紹介情報が表示されている。また、図8(B)に示す紹介情報画面HG6は、他のユーザである「TARO」の端末装置5に表示されたものであり、そこに当該ユーザである「ハジメ」の紹介情報が表示されている。したがって、これらユーザは、自己が購入した商品と同じ商品を購入し且つ自己の指定した条件

と合致する他のユーザを見つけることができたのである。これらユーザが、さらに相互のコミュニケーションを深めるには、そこに表示されたメールアドレスMAに対してメッセージを送ればよい。このようにして、商品を仲介として、容易に且つ安全に、知り合いを見つけることができる。なお、図8(A)に示す紹介情報画面HG5において、複数のユーザについての紹介情報がある場合には、画面をスクロールすることによって表示させることができる。

10 【0053】図9に示す紹介情報画面HG7は、当該ユーザの端末装置5に表示されたものである。この例では、他のユーザのみではなく、サークルについての紹介情報が表示されている。

【0054】つまり、紹介情報画面HG7においては、2つのサークル、及び3人の他のユーザについての紹介情報が表示されている。当該ユーザがそれらのサークルについて興味がある場合又は加入したい場合に、それぞれの代表者メールアドレスRMにメッセージを送信すればよい。

20 【0055】このように、購入者コミュニケーションシステムを利用することによって、電子モールシステム1を利用するユーザが他のユーザなどとのコミュニケーションを図ることが促進される。これによって、ユーザはより多くの満足感を得ることが可能となる。

【0056】次に、商品を購入したユーザが、商品を購入した時点ではなく、その後の任意の時点で、購入者コミュニケーションシステムを利用しようとする場合について説明する。

【0057】ユーザがサーバ4の電子モールにアクセスし、図4に示すメニュー選択画面HG1を表示する。このメニュー選択画面HG1において、購入者コミュニケーションシステムへ行くためのボタンCPをクリックすると、図10に示す顧客確認画面HG8が表示される。

【0058】図10に示す顧客確認画面HG8において、ユーザは顧客番号UBを入力し、OKボタンBT3を押す。これによって、コミュニケーション用プログラム19は、ユーザデータベース14を検索して顧客番号UBに対応するデータを抽出する。その結果、図11に示す商品選択画面HG9を表示する。

40 【0059】図11に示す商品選択画面HG9において、どの商品に対しての紹介情報を欲しいかを選択する。複数の商品を選択することも可能である。また、今まで選択していた商品を選択から除外することも可能である。つまり、商品選択画面HG9において、購入者コミュニケーションシステムの利用に係る商品を変更することができる。ここで商品を選択した後は、その商品について、利用確認画面HG3が表示される。これ以降の操作及び処理は、上述の説明と同様である。もし、利用確認画面HG3において、その内容を変更したい場合には、ここで行うこととなる。



13

【0060】なお、サークルデータベース15へのデータの登録は、図12に示す登録画面HG10においてデータを入力することによって行われる。登録画面HG10では、サークル名CNなどのデータ、及び抽出希望条件CDなどの必要なデータを入力し、登録ボタンBT4を押す。これによって、入力したデータがサークルデータベース15に登録される。

【0061】次に、電子モールシステム1における購入者コミュニケーションシステムの動作について、フローチャートを参照して説明する。図13は購入者コミュニケーションシステムの商品購入時における全体の動作を示すフローチャート、図14は購入者コミュニケーションシステムの任意の時点における動作を示すフローチャートである。

【0062】図13において、購入処理画面HG2によって商品の購入処理を行った後（#11）、購入者コミュニケーションシステムを利用する場合には（#12でイエス）、利用確認画面HG3が表示され、そこで追加データDCDを入力してユーザデータベース14に登録する（#13）。

【0063】その時点における紹介を指示した場合に（#14でイエス）、ユーザデータベース14及びサークルデータベース15の検索が行われ、紹介情報が抽出される（#15）。該当するユーザ又はサークルが存在した場合に（#16でイエス）、紹介情報画面HG5、6、7を表示するための紹介処理が行われる（#17）。該当するユーザなどがいない場合には、その旨を表示するための処理が行われる（#18）。

【0064】図14において、商品選択画面HG9で商品を選択する（#21）。利用確認画面HG3から追加データDCDを入力し又は修正してそれを登録する（#22）。紹介処理の中断を指示しない限り（#22でイエス）、ユーザデータベース14及びサークルデータベース15の検索によって紹介情報が抽出される（#23）。該当するユーザ又はサークルが存在した場合に（#24でイエス）、紹介処理が行われる（#25）。該当するユーザなどがいない場合にはその旨を表示するための処理が行われる（#26）。

【0065】図15は本発明に係る方法を実行するためのプログラムの記録媒体STの形態を示す図である。図15に示すように、処理装置PSに設けられた主メモリ、RAM、ROM、若しくはハードディスクなどの記憶装置STA、CD-ROM、フロッピーディスク、若しくは光磁気ディスクなどの可搬媒体STB、ネットワーク若しくは通信回線STDで結ばれたサーバ若しくはDASDなどの回線先媒体STC、又は通信回線STDそれ自体が、記録媒体STとして利用可能である。

【0066】記録媒体STが可搬媒体STBである場合には、プログラムは可搬媒体STBの種類に対応するドライブ装置によって読み出され、処理装置PSの記憶装

14

置STAに格納され又は主メモリ上にローディングされ、実行される。記録媒体STが回線先媒体STCである場合には、プログラムは通信回線STDを介して記憶装置STAにダウンロードされ、又は適時転送されて実行される。プログラムは、種々のOS、プラットフォーム、システム環境、又はネットワーク環境の下で動作するように供給可能である。

【0067】上述の実施形態において、購入者コミュニケーションシステムの利用を登録し、ユーザデータベース14に追加データDCDを登録したユーザについては、その時点、及びその後の任意の時点において、紹介情報の検索処理を指示することが可能である。しかし、購入者コミュニケーションシステムの利用を一旦登録した後は、自ら積極的に検索処理を指示しなくとも、他のユーザが購入者コミュニケーションシステムに新しく登録した時点において、そのユーザを発信元とする検索処理が行われ、当該ユーザが該当する場合には当該ユーザが抽出される。つまり、この購入者コミュニケーションシステムは、ユーザデータベース14へのデータの登録の早い遅いに係わらず、紹介処理が行われる可能性を常に持っているもので、検索条件を変えない限りは、後から検索処理を指示する必要がない。なお、ユーザデータベース14に早く登録したユーザは、登録が早い分だけ検索処理の行われる回数が多くなり、この点において有利である。

【0068】なお、上述の実施形態においては、ユーザが商品を購入した後で紹介情報の検索処理の指示を行うようにしたが、ユーザが商品を購入する前に、ユーザが指定する商品について紹介情報の検索処理の指示を行うようにすることも可能である。上述の例では、ユーザが商品を購入する場合について説明したが、サービスを受けるための申込み、サービスを受けるための団体への加入、スポーツや健康増進のためのスクールへの入会など、有形又は無形の種々の取引を行う場合に適用することが可能である。

【0069】上述の実施形態において、各画面HGの構成、内容、レイアウト、及び表示された文字、フローチャートの内容及び順序、電子モールシステム1の全体又は各部の構成又は処理内容などは、本発明の趣旨に沿って適宜変更することができる。

【0070】

【発明の効果】本発明によると、電子モールシステムを利用するユーザが他のユーザなどとのコミュニケーションを図ることを促進し、これによってより満足感を得ることが可能となる。

【0071】請求項5の発明によると、利用確認画面に表示された情報のみが他のユーザ又はサークルに紹介情報として伝達される。したがって、ユーザは、自己のデータが不測に他に流出することがないという安心感を得ることができる。

10

20

30

40

50

【0072】請求項6の発明によると、ユーザは、電子モールにアクセスしていないときでも、任意の時点で、紹介情報を見ることが可能となる。請求項7の発明によると、商品選択画面において、購入者コミュニケーションシステムの利用に係る商品を変更することが可能となる。

【0073】請求項8の発明によると、ユーザが商品に関連したグループを容易に知ることができ、商品を仲介としたコミュニケーションの一層の促進を図ることができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る電子モールシステムの構成を示すブロック図である。

【図2】ユーザデータベースの構成の例を示す図である。

【図3】サークルデータベースの例を示す図である。

【図4】端末装置の表示面に表示されるメニュー選択画面HG1の例を示す図である。

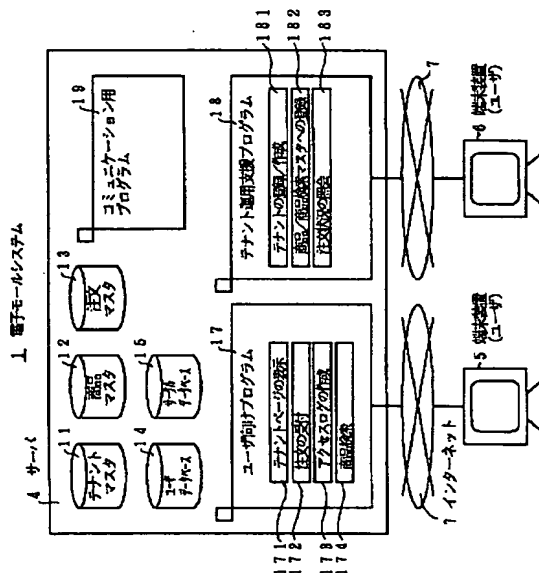
【図5】購入処理画面の例を示す図である。

【図6】利用確認画面の例を示す図である。

【図7】紹介確認画面の例を示す図である。

【図1】

本発明に係る電子モールシステムの構成を示すブロック図



\* 【図8】紹介情報画面の例を示す図である。

【図9】紹介情報画面の他の例を示す図である。

【図10】顧客確認画面を示す図である。

【図11】商品選択画面を示す図である。

【図12】サークルデータの登録画面の例を示す図である。

【図13】購入者コミュニケーションシステムの商品購入時における全体の動作を示すフローチャートである。

10 【図14】購入者コミュニケーションシステムの任意の時点における動作を示すフローチャートである。

【図15】本発明に係る方法を実行するためのプログラムの記録媒体の形態を示す図である。

#### 【符号の説明】

1 電子モールシステム

5, 6 端末装置

14 ユーザデータベース (紹介情報データベース)

15 サークルデータベース (グループデータベース)

HG3 利用確認画面

HG9 商品選択画面

20 STA, STB, STC, STD 記録媒体

\*

【図2】

ユーザデータベースの構成の例を示す図

14 ユーザデータベース									
CT		GN		SE	BD	AG	UB	UA	UF
商品コード	顧客氏名	誕生日	性別	年齢	住所		電話番号	メールアドレス	利用フラグ
					都道府県	市区町村			
1000	山田太郎	98/12/01	男	25	東京都	大田区	03-1234-5678	example.co.jp	1
1001	山田太郎	98/12/01	男	25	東京都	大田区	03-1234-5678	example.co.jp	1
1002	山田太郎	98/12/01	男	25	東京都	大田区	03-1234-5678	example.co.jp	1
1003	山田太郎	98/12/01	男	25	東京都	大田区	03-1234-5678	example.co.jp	1
1004	山田太郎	98/12/01	男	25	東京都	大田区	03-1234-5678	example.co.jp	1
1005	山田太郎	98/12/01	男	25	東京都	大田区	03-1234-5678	example.co.jp	1
1006	山田太郎	98/12/01	男	25	東京都	大田区	03-1234-5678	example.co.jp	1
1007	山田太郎	98/12/01	男	25	東京都	大田区	03-1234-5678	example.co.jp	1
1008	山田太郎	98/12/01	男	25	東京都	大田区	03-1234-5678	example.co.jp	1
1009	山田太郎	98/12/01	男	25	東京都	大田区	03-1234-5678	example.co.jp	1
1010	山田太郎	98/12/01	男	25	東京都	大田区	03-1234-5678	example.co.jp	1

【图 10】

顧客確認画面を示す図

Figure 1 shows a terminal screen with the following elements:

- Top label: HG8
- Header text: 購入者コミュニケーションシステム
- Instruction text: 顧客番号を入力して下さい。
- Input field 1: yamashita001 (labeled UB below)
- Input field 2: OK (labeled BT3 below)

利用確認画面の例を示す図

【図 5】

購入処理画面の例を示す図

Figure 1 is a schematic diagram of a data processing system. A central box labeled "HG 2" contains two sub-boxes. The top sub-box is labeled "バイク" (Bike) and contains the text "「かっ」とび 4 0 0」" and "型番 kattobi 400". The bottom sub-box is labeled "名前: " (Name:), "住所: " (Address:), and "1-87112: " (1-87112:), followed by "..." (...). On the left, "GD" is connected to the top sub-box and "UD" is connected to the bottom sub-box. On the right, "GN" is connected to the top sub-box, "GT" is connected to the top sub-box, "UN" is connected to the "名前:" field, "UA" is connected to the "住所:" field, and "MA" is connected to the "1-87112:" field.

【圖 1 1】

商品選択側面を示す図

H G 9

どの商品に対して、お友達を紹介しま  
すか？

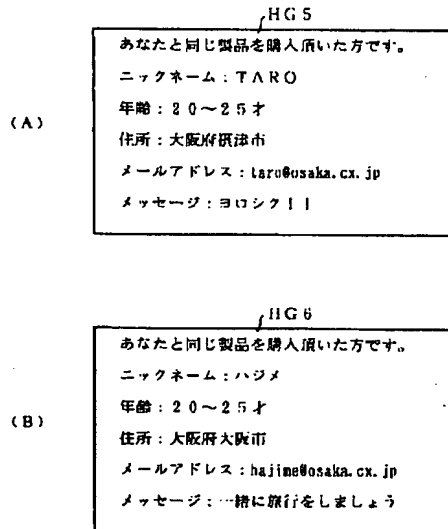
☐ かっとび 4 0 0

☐ 城風機

☐ . . .

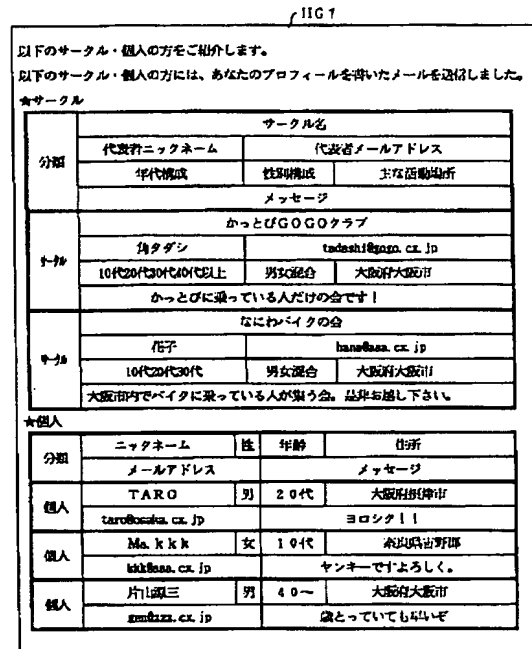
【図 8】

紹介情報画面の例を示す図



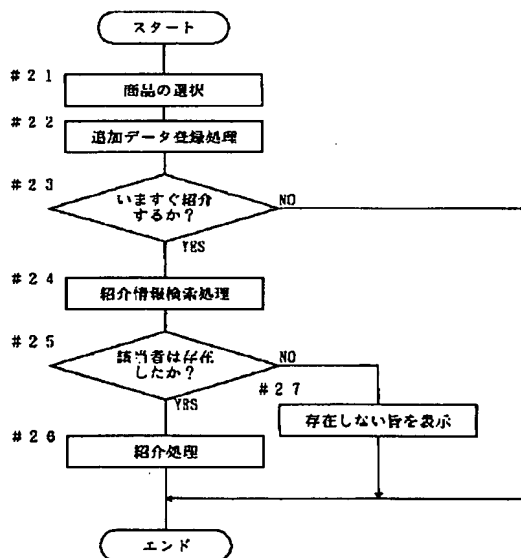
【図 9】

紹介情報画面の他の例を示す図



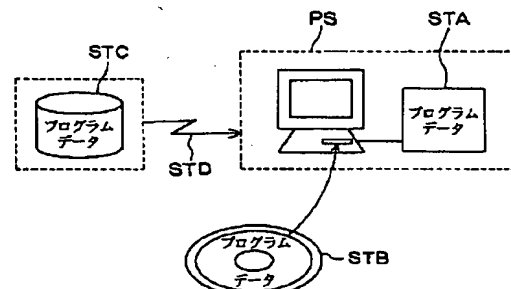
【図 14】

購入者コミュニケーションシステムの任意の時点における動作を示すフローチャート



【図 15】

本発明に係る方法を実行するためのプログラムの記録媒体の形態を示す図



【図12】

サークルデータの登録画面の例を示す図

HG10

★あなたのサークル情報を入力して下さい

CN サークル名:

E 活動場所: (都道府県)

(市町村部)

代表者ニックネーム:

サークル年代構成: ☐10代 ☐20代 ☐30代 ☐40代以上

サークル性別構成: ☐男性のみ ☐女性のみ ☐男女混合

メールアドレス:

メッセージ:

CD ★どのような人を紹介して欲しいですか。検索条件を入力して下さい。

購入商品番号:


性別: ☐どちらでもよい ☐男性 ☐女性

住所: ☐どこでもよい

☐活動場所と同じ都道府県のみ

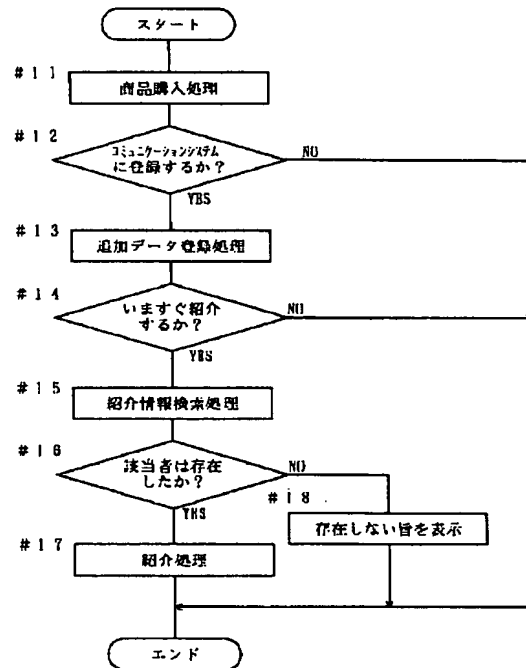
☐活動場所と同じ市町村部のみ

年代: ☐10代 ☐20代 ☐30代 ☐40代以上  
(年代は複数選択可)

登録

BT4

【図13】

購入者コミュニケーションシステムの商品購入時における  
全体の動作を示すフローチャート

フロントページの続き

F ターム (参考) 5B049 AA06 BB11 CC01 CC03 CC05  
CC10 EE05 FF03 FF04 GG04  
GG07

5B075 KK03 KK07 KK13 KK33 KK38  
ND03 ND20 ND36 PP12 PP13  
PP30 PQ02 PQ40 PQ46 UU08  
UU24 UU40



Verification of Translation

U.S. Patent Application Serial Number 09/995,815

Title of the Invention:

INTRODUCTION SYSTEM

RECEIVED  
FEB 27 2002  
Technology Center 2100

I, Michiaki NAGAI, professional patent translator, whose full post office address is IKEUCHI · SATO & PARTNER PATENT ATTORNEYS, OAP TOWER, 26F, 8-30, Tenmabashi 1-Chome, Kitaku, Osaka-shi, Osaka 530-6026, Japan am the translator of the documents attached and I state that the following is a true translation to the best of my knowledge and belief of Japanese Patent Publication No. JP2000-322488A and Japanese Patent Publication No. JP2000-20530A.

At Osaka, Japan

DATED this February 15, 2002

Signature of the translator

Michiaki NAGAI